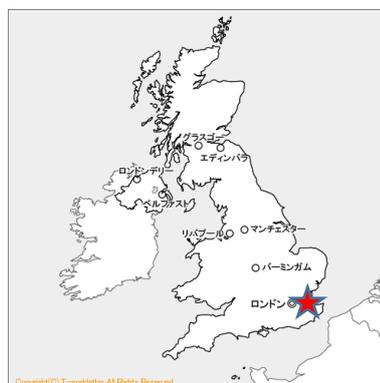


○グレーブセンド・タウン棧橋 (Gravesend Town Pier)



供用開始年	1834 年
所有者	Gravesham BC
棧橋位置	West StGravesend DA11 0BG
棧橋延長	79m(260ft)

本棧橋は、鋳鉄製で現存する世界最古である。1834 年開設から8年間でロンドンへ向かう 350 万人の旅客が利用したが、やがて鉄道の敷設により利用が減少し、レジャー用の船舶の利用に代わった。しかしテムズ川対岸の鉄道が開設すると、渡船による利用者が増加している。

2000 年に地元自治体が朽ちていた棧橋を買い取り、郡や各種財団からの助成を受け、再生事業を 2002 年に完成させた。さらに棧橋上にレストランやバーを整備し、先端にフェリーやクルーズヨットのためのポンツーンを設置した。



人口 10 万人余りのグレーブセンドはロンドンより南西にテムズ川を下ったところにある自治区である。グレーブセンド自治区は、その地理的位置より交通の要所として古くから栄えていた。かつて栄えていた名残がある町の中心街(ハイストリート)を下ると、真正面に本棧橋が見える。かつてはポーツマスと並ぶ2大軍港の街であったグレーブゼンド、いまその名残はほとんど見当たらない。岸边にたたずむ教会と観艦式を行ったといわれる広場にその面影を残すのみである。

